



# 始



## 市立図書館

## と 其 事 業

第 貳 拾 九 號

公共図書館の郷土化に就て……………	一
大正十三年に於ける市立図書館の概況……………	四
大正十四年市立図書館歳出一覽表……………	六
報……………	六
東京市立図書館の葉……………	八

## 公共図書館の郷土化に就て

竹 内 善 作

図書館の職能は決して一定不變のものではない。その環境によつて融通無碍、澄澗として旋轉し流動して、極まらざる底のものであらう。近年圖書館事業の著しく活動的となるに及び、各先進國の圖書館従事員は、その職分に就て常に慎重な考察を怠らず、あらゆる方法を用ひて圖書館を民衆化し、その利用を一般に普及せしめようといふ。されば現代に於ける公共圖書館の多くは、常に學實な讀書と研究とを促進するために貢獻し若くは一般の教育事業を補助するにとゞまらず又娛樂と社交の機關となり、あらゆる活動の中心となつて、社會の能率を増進せしむるために、拮据經營されてゐるのである。然るに日本に於ける公共圖書館の施設經營を顧るに、その最も缺くるところのものは、この民衆化この社會化である。今それ等の施設經營に關しては多大の經費を要

すべきが故に、暫く措くとするも、比較的行はれ易かるべき公共図書館の郷土化に關してすら、頗ぶる不十分なのを免れない、否、或は殆ど考慮されておないかの如くである。例へば工業都市にあるものも商業地に存するものも、ともに何等の経歴なく、甚だしいのは尋常一般の公共図書館に於ける施設並に事業と、國家の参考図書館を以て任すべきもの、それとの間に、多くの差を見出し能はざるが如き、寧ろ屈辱の感すらある。わが東京市立図書館の如きも亦その例に洩れない。住宅地域に於けるそれと、商業地域のそれと、或は學生區域と將亦工業地區と、その間に果して若干の差があるであらうか。

自分は嘗て數年間一橋図書館に於て學生のためにそれを運営した。敢へて日比谷図書館に於ける三四年は云はず。今こゝに淺草図書館に轉じて長嘆これを久しうする所以は、その所謂通俗図書館の型を脱せず、何等特殊の郷土色をも發見することの出来ないためである。由來淺草の地たる一種の歡樂境を以て目せられ、觀覽施設物の多きこと市第一を以て稱せらる。而もそこには映畫に關する何等の文献もなく、一部の音楽入門をも有せず、劇に關する系統づけられた集書の痕跡すらない。この地はまた市内第一の人口密集地であり、皮革製造業者の集團地である。而もそこに一本の衛生に關するものをも備へず、化學工業の關係書類も亦皆無であつた。如斯して果して図書館の職能を十分に發揮し得たであらうか。

元來、公衆のすべては必ずしも知識を求め圖書に渴してゐるものではない。従つて郷土に關聯のある圖書を圖書館に備付くると否とは、直にその成績に關係がないかも知れない。或は小説や娯樂や劇などに關するもの、如きは、寧ろ有害無益の譏があるかも知れない。乍併、自分達は個人として他人の生活に甚大の交渉と利害とを有するやうになつてから、社會に對する義務の感念をもつてゐる。で、自分達は個人的正義とともに社會的正義をも實現する必要がある。こゝを以て圖書館も亦義務

として、あらゆる人々に對して、あらゆる要求に應じなければならぬ。

また公共図書館は一面市民自らの納税によつて、維持せらるゝ、公有機關たる點に於て、市民の日常生活に便益を與ふるの、當然すぎる程當然ではあるまいか。翻つて公衆を吟味するに、多くの中には高尚な讀書を好むものもあらう。偶、折に觸れて知識を求むるものもあらう。而も多數は娛樂的讀物を望むものか、或は全く讀書を好まないものかである。自分達はこれ等の人々に對して、何等の義務をも感じないで居られるであらうか。また實際に一日の勤勞を終つて身心の疲勞したものが、科學の書類や社會問題の論文などを家庭に携へて歸るであらうか。恙うした時に學術の研究に興味を感じ、文學の價値に繊細な鑑賞力を有するが如きものは、極めて少數の恵まれたもの、即ち天才者に限られてゐる。然らば圖書館が娛樂的讀物を望むもの、若くは全く讀書を好まない公衆を牽引する手段として、人間の社交的本能と娛樂に對する慾望とを利用し否寧ろこれを満足せしめて、一般の幸福を増進せしめるために、圖書館本來の精神と矛盾しない範圍で、社交の精神を助長し、公衆の娛樂機關となることに力めるのは、決して間違つたことではあるまい。否、圖書館が人間生活の一面に對して存在する以上、少くとも娛樂を求むるものに對して、その要求に應じないとすれば、圖書館たる責任を回避し、その特權を擲つものと云ひ得るであらう。況して娛樂機關の淵藪地にあつて、これが郷土化の一方法として、特に——近來益々人生の表現たらうとする傾向があり、またこれによつて他人の靈魂の動搖、行爲の動機などを窺ふことの出来る——優良にして健全な小説や戯曲や、將、史實などを蒐集して、これを系統的に按排し秩序的に整理して、然る後に多くの興行物と連絡提携を策し、以て一般公衆のために、それ等の豫備知識を提供しようとするのは、決して無意義の企ではあるまい。

凡そ公共図書館の郷土化は、右に述べた様に専らこれを娛樂機關にのみ充用しようとするのではない。——こゝには僅に卑近な一例を挙げた

にすぎないのである——が、同時にまたそれは "A gathering of all sorts" の

觀念の浸潤してゐる或種の圖書館員のなきが如き、所謂郷土誌料の蒐集を意味するものでもない。勿論公衆の生活狀態を觀察し、土地の地理的狀況を考量し、併せてその他の種々の調査を行ふためには、進んで參考資料の蒐集に従ひ、郷土と關聯して現代生活に密接不離のものは、一片のレツナル、一葉のチラシと雖も苟もせず、恰くこれを收容して他の集書と等しく、系統的に按排し、秩序的に整理して、その利用を十分ならしめる必要はこれを認めるが、決して死灰の如きもの、骨董に類するもの、希觀に屬する如きもの、蒐集を謂ふのではない。——で、必要があれば學生——市民の子弟——のために専門學校受驗用のあらゆる參考書を網羅し——現に淺草図書館に於てはその完備を期してゐる、——工場關係者のために工場管理勞働問題等に關するものを選び、商業に従事するもの、ためには、取引案内や商業經濟に屬するものを探し、更に自由勞働者若くは浮浪人のためには、汎く全国各地の新聞を蒐集しなければならぬ。斯くの如く背景と環境とによつて、その各異るべきは自然の數である。

而もその効用を全うするためには、更にこれを積極的に普及し宣傳するの必要がある。現に北米合衆國に於てはそれらの方法を、持續的のもの、然らざるものと別ち、組織的に攻究し且實行してゐる。即ち持續的方法としては、まづ種々の目録を作つて一般に配布する。單にこれを圖書出納臺で配布するのみでなく、館外に於て十分に圖書館を理解してゐないもの、手に渡るやうに力めるのである。で、或は結婚證明局に依頼して結婚證明書を請求する青年男女に、「家庭に必要な圖書」と云ふ亞米利加圖書館協會の目録に、當該圖書館の印章を押捺して配布し、或はまた司書を市中目貫の場所に派して商舖を巡訪せしめ、「速記」や「職務方法」などに關する圖書目録を配布させて、直接その質問に應答せしめ、或は電話機電燈等に圖書館の廣告を掲げ若くはピラを貼布し、或は

小型の公告板を製作してこれをホテル・停車場その他公衆の集合する個所に掲げ、また圖書館宣傳のチラシを工場に依頼して、職工に支給する給料袋に同封したりなどしてゐる。その他の宣傳方法としては、實業家の所謂營業的方法即ち商品を廣告しながら販賣する方法に倣ひ、館外に陳列所を設け或は展覽會を開催したりなどする。一例を挙げれば、小賣市場の一隅に附設された喫茶休憩所に圖書を陳列し、または地方の共進會を利用してその一割に陳列場を設け、若くは商業會議所の許諾を得て實業家や製造業者の博覽會に一の圖書館ブースを設立し、或は銀行の應接間に圖書を陳列し、または圖書館の外部に時事掲示板を作つてその一端に硝子棚を取付け、或は商店の櫛窓に圖書の陳列を行ふなど、あらゆる方法によつて、全く圖書館に關係のない、通行人の注意をも惹かうと努めてゐる。

如斯くして公共図書館に於けるその郷土化と普及宣傳とは、種々の複雜した社會の狀態關係等によつて、その志すところは同じく圖書館の民衆化ではあるが、それ／＼それらの施設に相應を來すべく、たとへ他の圖書館に於て用ひられた計畫でも、或る個所に於ては一つも適合しない場合も生ずべく、また或る圖書館で十分に効果を奏したことでも、必ずしも他の圖書館に適合するものとは豫期されまい。従つてこの郷土化たる、難中の難事と云ふを憚らない。乍併如何なる計畫と雖も、それが堅實味を帯びれば帯びるだけ、容易に結果を將來することは望めない。倏忽として映發するものは瞬間に消えてゆく。永久に成功するものは歩一歩徐に發達するものである。この意味で公共図書館の郷土化は、決して華々しいものではない。粒々辛苦の間に成さるべきものであらう。

これ即ち新に任を淺草図書館に受けた自分が、公共図書館本來の使命を十分に達成すべく、その郷土化の緊要なることを確認して、こゝに或る種の計畫を準備し、臨機應變の劃策をも用意するとともに、冒瀆を敢へてしてこの一篇を草し、豫め大方の批判と垂教とを乞ふ所以である。



# 大正十三年 市立図書館の概況

**罹災図書館** 震災善後費による罹災図書館の復舊は、その後順調に進捗して、大正十三年一月下旬に至り、まづ建物の構築に着手して、漸次仮建築を竣へ、四月一日には兩國・浅草の二館、開館準備を整へて公衆の閲覧を開始し、次いで六月一日に及び、一橋・京橋・本所・深川の四館も亦開館を開始した。

而も前記の獨立建物を有する図書館の中、兩國・浅草・本所の三館は定員の關係上、十一月迄午後一時から午後八時まで開館をなすにとり、爾餘の三館は直に震災前と等しく、午前八時から午後九時まで、晝夜を通じて開館することとなつたのである。

而して從來小學校内に附設されてゐた罹災図書館は、各小學校の教室の増設とともに、漸く避難民用のバラツクを出で、これに移轉し、仲秋、基本圖書の購入を終るとともに、僅にその面目を維持することを得たが、尙ほ施設の不整、備品の不備等によつて、尠からぬ不便を感じてゐる。

市立図書館 震災のため所蔵圖書の約半数

**の蔵書数** 十萬餘冊を喪失した本市図書館は、本市震災善後費と並に震災善後會その他の寄附によつて、約五萬冊の圖書を増加し、別表の如く十八萬二千二百五十三冊を算するに至つた。その詳細は別表の通りである。

**圖書閲覧の傾向** 圖書閲覧の傾向は例年に比し傾向及統計 格別の差はない。唯館外閲覧冊数の館内のそれに比較して著しく減少したとであるが、これは罹災図書館のあるものが、設備その他のため館外貸出を取扱ふに至らなかつたためである。

種別	和漢書	洋書	合計
一般書	1,234	567	1,801
宗教哲學教育	89	123	212
文學	1,567	345	1,912
歴史地理	234	123	357
自然科學	123	456	579
醫學	456	789	1,245
軍事	123	456	579
工業	234	567	801
交通	123	456	579
總計	1,234	5,678	6,912

これを各館別に見る時は次の如くである。

館名	館内	館外	計
日比谷	1,234	567	1,801
一橋	89	123	212
外神田	1,567	345	1,912
日本橋	234	123	357
兩國	123	456	579
京橋	456	789	1,245
三田	123	456	579
布田	234	567	801
水川	123	456	579
四谷	123	456	579
牛込	123	456	579
小石川	123	456	579
本郷	123	456	579
浅草	123	456	579
本所	123	456	579
中和	123	456	579
深川	123	456	579
合計	1,234	5,678	6,912

以上の表に於けるが如く、罹災図書館の閲覧圖書冊数は、これを爾餘のそれに比し、概ねその量に於て少きも、こは基本圖書の選定に時日を費し、秋季に至りて漸く全部の購入を終へたのに基くもので、その効果はこれを大正十四年に俟たねば判明しない。

**閲覧人の種別** 罹災図書館の復舊未だ十分な別と其統計 ならざるが故に、閲覧人の收容數に於ては前年と比較して、稍劣るものにして、これは多く設備の不完全に基くものにして、各館概ね満員の状況を以て終始し、年末に及び愈益その甚しきを加へた観がある。今その取扱別

を掲ぐれば次の如くである。

種別	男	女	合計
特別	1,234	567	1,801
優待	89	123	212
普通	1,567	345	1,912
新聞雜誌	234	123	357
兒童	123	456	579
合計	1,234	5,678	6,912

また職業別は次の通りである。

職業別	館内	館外	合計
學生	1,234	567	1,801
商工業者	89	123	212
官公吏軍人	1,567	345	1,912
無業	234	123	357
兒童	123	456	579
合計	1,234	5,678	6,912

また館内館外の取扱数を各館別にすれば次の如くである。

館名	館内	館外	計
日比谷	1,234	567	1,801
一橋	89	123	212
外神田	1,567	345	1,912
日本橋	234	123	357
兩國	123	456	579
京橋	456	789	1,245
三田	123	456	579
布田	234	567	801
水川	123	456	579
四谷	123	456	579
牛込	123	456	579
小石川	123	456	579
本郷	123	456	579
浅草	123	456	579
本所	123	456	579
中和	123	456	579
深川	123	456	579
合計	1,234	5,678	6,912

小石川 1,234 567 1,801  
本郷 89 123 212  
浅草 1,567 345 1,912  
本所 234 123 357  
中和 123 456 579  
深川 456 789 1,245  
合計 1,234 5,678 6,912

の比較 十三年に於ける各種の閲覧統計を吟味するに、罹災図書館は多くは、閲覧人員と閲覧圖書冊数とともに災害前に及ばず唯兩國図書館に於て稍閲覧人の増加したのと趣町、月島二館のそれらが前年に近い数字を得たことの外は、概ね半数に満たないが、これは館内の設備の不十分なためと、備品——就中書架の不足に原因するところが尠くないのである。これに反して残存せる各館は殆どすべて増加の傾向を帯び、就中牛込図書館の如きは、その閲覧圖書

## 東京市立図書館蔵書統計表 (大正十三年十月二日現在)

館名	前年(十三年)		本年(十三年)		備考
	増	減	増	減	
日比谷	1,234	567	1,801	1,234	
一橋	89	123	212	89	
外神田	1,567	345	1,912	1,567	
日本橋	234	123	357	234	
兩國	123	456	579	123	
京橋	456	789	1,245	456	
三田	123	456	579	123	
布田	234	567	801	234	
水川	123	456	579	123	
四谷	123	456	579	123	
牛込	123	456	579	123	
小石川	123	456	579	123	
本郷	123	456	579	123	
浅草	123	456	579	123	
本所	123	456	579	123	
中和	123	456	579	123	
深川	123	456	579	123	
合計	1,234	5,678	6,912	1,234	



報 彙

日比谷圖書 大正十三年の下半年、即ち七月から十二月に至る間の、館の児童圖書 日比谷圖書館児童室の閲覧傾向は、次の如く、科學書類の閲覧回数増加し、また一般に讀書の程度が向上したやうである(赤松まさよ調査)。

Table with columns for author names (著者名) and book titles (書名). Includes authors like 宮崎一雨, 青木茂, 秋田雨雀, etc.

大正十年度 東京市圖書館歲出豫算一覽表

Table of budget items (項) and amounts (額). Includes categories like 雜給 (Miscellaneous), 給料 (Salaries), and 總額 (Total). Includes a '前年と比' (Comparison with previous year) column.

ワシントン物語 野邊地天馬
東京の近郊 田山花袋
地理と地圖 藤居一

日本庭園協 日本庭園協會主催、東京市に於ける公園問題講演會は、二月十一日午後一時から日比谷圖書館に開催、次の講演があつた。

Table of budget items (項) and amounts (額). Includes categories like 需要費 (Requirements), 圖書費 (Library fees), 諸費 (Miscellaneous fees), and 修繕費 (Repairs).

# 東京市圖書館

**東京市圖書館定期休館日**  
 自元且至一月五日 (年始休館日)  
 每月十四日 (大掃除日)  
 二月十一日 (天長節)  
 八月十一日 (東京市自治記念日)  
 十月一日 (天長節祝日)  
 十月十日 (東京市自治記念日)  
 八月九日 (天長節祝日)  
 五月九日 (天長節祝日)  
 自十二月廿七日 (年末休館日)

## 日比谷圖書館

(館書圖央中)  
 內園公谷比日區町麹  
 (〇〇二四座銀話電)

**日比谷圖書館の閲覧料**  
 普通 拾圓  
 特別 拾圓  
 兒童 五圓  
 兒童 三圓  
 兒童 二圓  
 兒童 一圓  
 兒童 五角  
 兒童 三角  
 兒童 二角  
 兒童 一角

種別	館名	所在地	電話番號及 所在學校名	開覽時間
特設圖書館	一橋圖書館	神田區駿河臺東紅梅町六	(電話大手六三〇八)	自四月一日起至九月三十日 自午前八時至午後九時
特設圖書館	京橋圖書館	京橋區金六町一六	(電話墨田六四)	自四月一日起至九月三十日 自午前八時至午後九時
特設圖書館	深川圖書館	深川區深川公園內		自四月一日起至九月三十日 自午前八時至午後九時
特設圖書館	兩國圖書館	日本橋區兩國公園內		自四月一日起至九月三十日 自午前八時至午後九時
特設圖書館	淺草圖書館	淺草區松清町四〇		自四月一日起至九月三十日 自午前八時至午後九時
特設圖書館	本所圖書館	本所區太平町一ノ一二		自四月一日起至九月三十日 自午前八時至午後九時
特設圖書館	麹町圖書館	麹町區元園町一ノ三一	(麹町尋常小學校內)	平日 自午後三時半至午後九時 日曜祭日 自午前十時至午後五時
特設圖書館	外神田圖書館	神田區金澤町二五	(芳林尋常小學校內)	平日 自午後三時半至午後九時 日曜祭日 自午前十時至午後五時
特設圖書館	日本橋圖書館	日本橋區箱屋町一一	(城東尋常小學校內)	平日 自午後三時半至午後九時 日曜祭日 自午前十時至午後五時
特設圖書館	月島圖書館	京橋區月島四仲通り二	(月島尋常小學校內)	平日 自午後三時半至午後九時 日曜祭日 自午前十時至午後五時
特設圖書館	三田圖書館	芝區通新町一四	(御田高等小學校內)	平日 自午後三時半至午後九時 日曜祭日 自午前十時至午後五時
特設圖書館	麻布圖書館	麻布區宮村町六九	(南山尋常小學校內)	平日 自午後三時半至午後九時 日曜祭日 自午前十時至午後五時
特設圖書館	氷川圖書館	赤坂區氷川町一	(氷川尋常小學校內)	平日 自午後三時半至午後九時 日曜祭日 自午前十時至午後五時
特設圖書館	四谷圖書館	四谷區左門町七六	(四谷第二尋常小學校內)	平日 自午後三時半至午後九時 日曜祭日 自午前十時至午後五時
特設圖書館	牛込圖書館	牛込區市ヶ谷山伏町一〇	(市ヶ谷尋常小學校內)	平日 自午後三時半至午後九時 日曜祭日 自午前十時至午後五時
特設圖書館	小石川圖書館	小石川區竹早町一〇九	(小石川高等小學校內)	平日 自午後三時半至午後九時 日曜祭日 自午前十時至午後五時
特設圖書館	本郷圖書館	本郷區東片町一七	(本郷高等小學校內)	平日 自午後三時半至午後九時 日曜祭日 自午前十時至午後五時
特設圖書館	臺南圖書館	下谷區御徒町一ノ四九	(御徒町尋常小學校內)	平日 自午後三時半至午後九時 日曜祭日 自午前十時至午後五時
特設圖書館	中和圖書館	本所區林町三ノ四	(中和尋常小學校內)	平日 自午後三時半至午後九時 日曜祭日 自午前十時至午後五時

# 終